

---

# 「地域密着型金融」の取組み状況について

---

平成 22 年 6 月

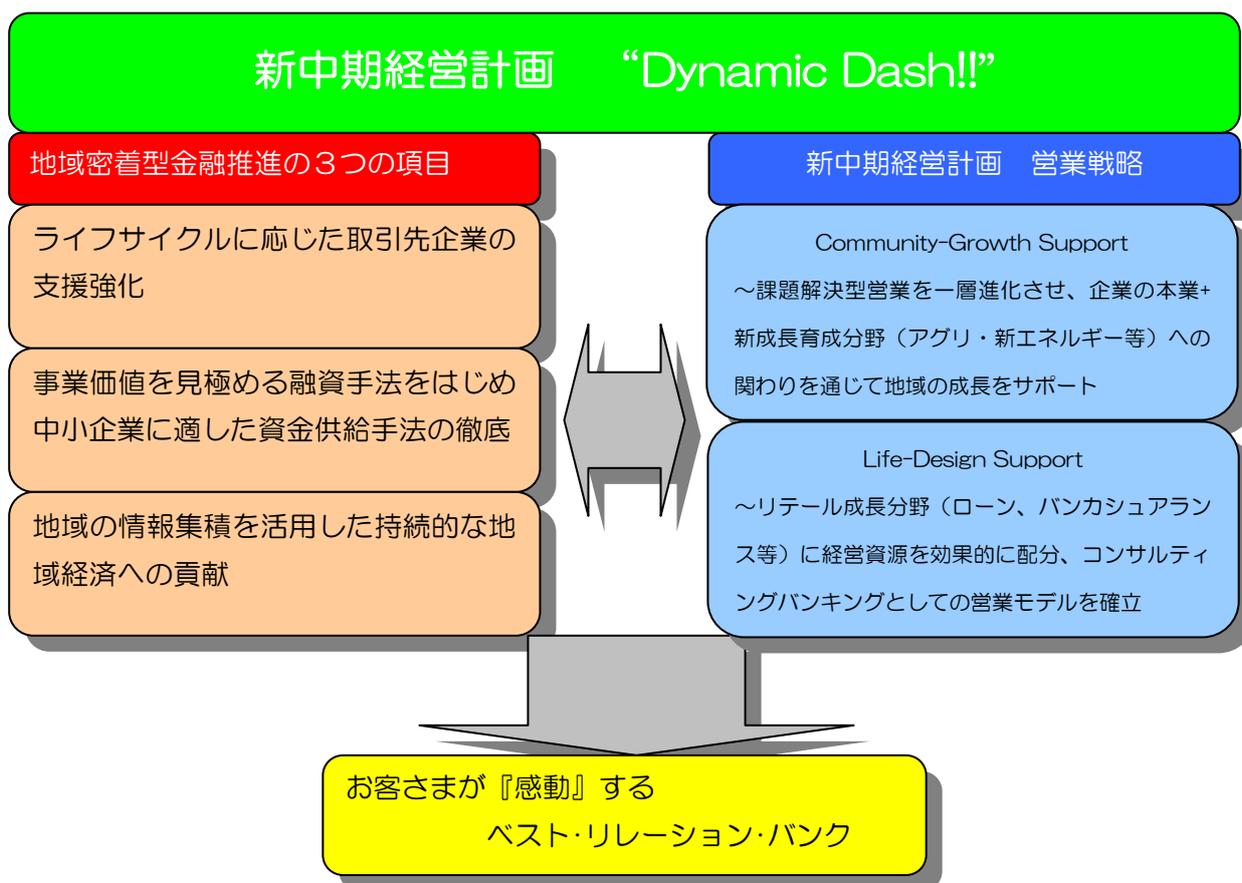
北都銀行



◇ 地域密着型金融の推進に関わる基本方針について	— 1
◇ 1. ライフサイクルに応じた取引先企業の支援強化	— 2
◇ 2. 事業価値を見極める融資手法をはじめ	
中小企業に適した資金供給手法の徹底	— 4
◇ 3. 地域の情報集積を活用した	
持続可能な地域経済への貢献	— 6

当行は地域金融機関としての一層の地域経済への貢献と経営の効率化を目指し、平成 21 年 10 月に株式会社荘内銀行と共同持株会社「フィデアホールディングス株式会社」を設立いたしました。経営統合により、営業力や収益力が強化されることで、地域金融機関としての金融仲介機能が向上いたします。これは、地域経済の活性化のサポートにつながり、お客さまにも大きなメリットになると認識しております。

フィデアグループという新しいステージで「新生・北都」を創造していくため、平成 21 年度より新中期経営計画 “Dynamic Dash!!” をスタートし、地域金融機関として何より必要不可欠な地域のお客さまの信頼を一層得るべく、これまで培ってきた「課題解決型営業」を進化させ、北都の力強い成長戦略を構築してまいります。「お客さまが『感動』するベスト・リレーション・バンク」を目指し、お客さまの「満足」を「感動」にまで昇華させるリレーションを実現すべく、地域密着型金融を積極的に推進してまいります。



## 1. ライフサイクルに応じた取引先企業の支援強化

### (1) 創業・新事業支援

#### ● 企業育成ファンドの組成・出資

当行の営業基盤である秋田県内経済の活性化に向け、創業・新事業等のニーズに対し積極的な支援を行うため、平成 17 年 10 月に当行独自のベンチャーキャピタル「北都チャレンジファンド」を創設しております。

本ファンドにより、ベンチャー企業や直接金融のニーズがあるお取引先企業に対して出資を行い、資本の充実を図るとともに、企業の将来的な成長を資金面から支援してまいります。

なお、平成 21 年度中は 1 社へ 13 百万円の出資を実施しております。また、これまでの投資累計は 5 社、79 百万円となっております。

#### 北都チャレンジファンドの投資実績

	平成 21 年度
投資先数	1 先
投資実績額	13 百万円

創業・新事業等にかかる融資面の支援としては、主に創業支援や経営革新にかかる公的制度を利用した支援を行っております。

#### 創業・新事業支援融資の実績

	平成 21 年度
取扱件数	74 件
投資実績額	1,157 百万円

従来の創業・新事業支援は融資面の支援が中心でしたが、上記ファンドの活用に加え、包括提携している政府系金融機関との協調融資や秋田県の補助金制度である経営改革総合支援事業（フェニックスプラン 21）の活用など、法人ライフステージにおける「創業・成長」を引き続き支援してまいります。

### (2) 経営改善支援

#### ● 経営改善計画策定支援による事業支援活動

経営課題や悩みを抱えているお取引先の課題解決をサポートするため、「経営改善計画書」の策定をバックアップしており、また、「経営改善計画書」の策定をサポートしたお取引先のうち 34 先の債務者区分がランクアップしております。

経営改善支援の取組み実績 (21 年 4 月～22 年 3 月)

(単位:先数)

	期初債務者数 A	うち経営改善支援取組み先 α	αのうち期末に債務者区分がランクアップした先数 β	αのうち期末に債務者区分が変化しなかった先 γ	αのうち再生計画を策定した先数 δ	経営改善支援取組み率 = α/A	ランクアップ率 = β/α	再生計画策定率 = δ/α	
正常先①	6,016	33		28	1	0.5%		3.0%	
要注意先	うちその他要注意先②	774	104	2	95	8	13.4%	1.9%	7.7%
	うち要管理先③	83	34	21	11	8	41.0%	61.8%	23.5%
破綻懸念先④	307	81	11	65	5	26.4%	13.6%	6.2%	
実質破綻先⑤	161	1	0	1	0	0.6%	0.0%	0.0%	
破綻先⑥	54	0	0	0	0	0.0%	0.0%	0.0%	
小計(②～⑥の計)	1,379	220	34	172	21	16.0%	15.5%	9.5%	
合計	7,395	253	34	200	22	3.4%	13.4%	8.7%	

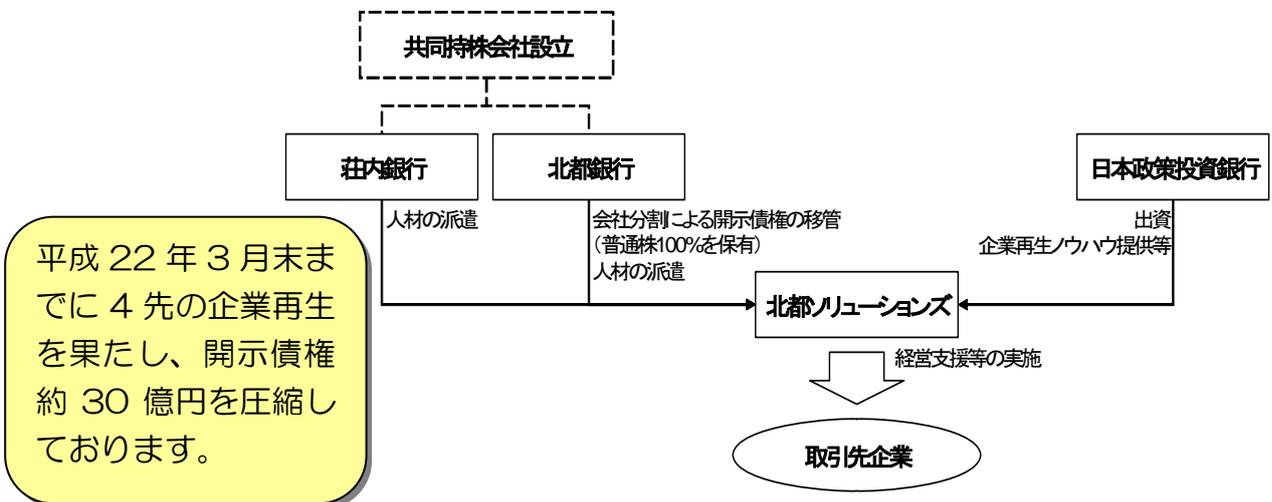
(3) 事業再生支援

● 企業再生の取組み強化

取引先への経営支援体制の強化と財務健全化を図る取組みの一環として、会社分割の手法により当行 100%子会社である株式会社北都ソリューションズ（以下、北都ソリューションズといたします。）に当行の約 162 億円の貸出金を移管いたしました。

北都ソリューションズは株式会社日本政策投資銀行から出資やノウハウ提供等を受ける形のジョイントベンチャーとして運営をしております。株式会社日本政策投資銀行は企業の再生支援などに多くの実績がある金融機関であり、理想的なパートナーであると考えております。

加えて、経営統合を目指す荘内銀行からも北都ソリューションズが人材の派遣を受け入れております。この取り組みは、荘内銀行との経営統合に向け、企業再生や中小企業金融のノウハウを持つ人材の育成にも大きく寄与するものと考えております。



2. 事業価値を見極める融資手法をはじめ中小企業に適した資金供給手法の徹底

(1) 不動産担保・個人保証に過度に依存しない融資への取組み

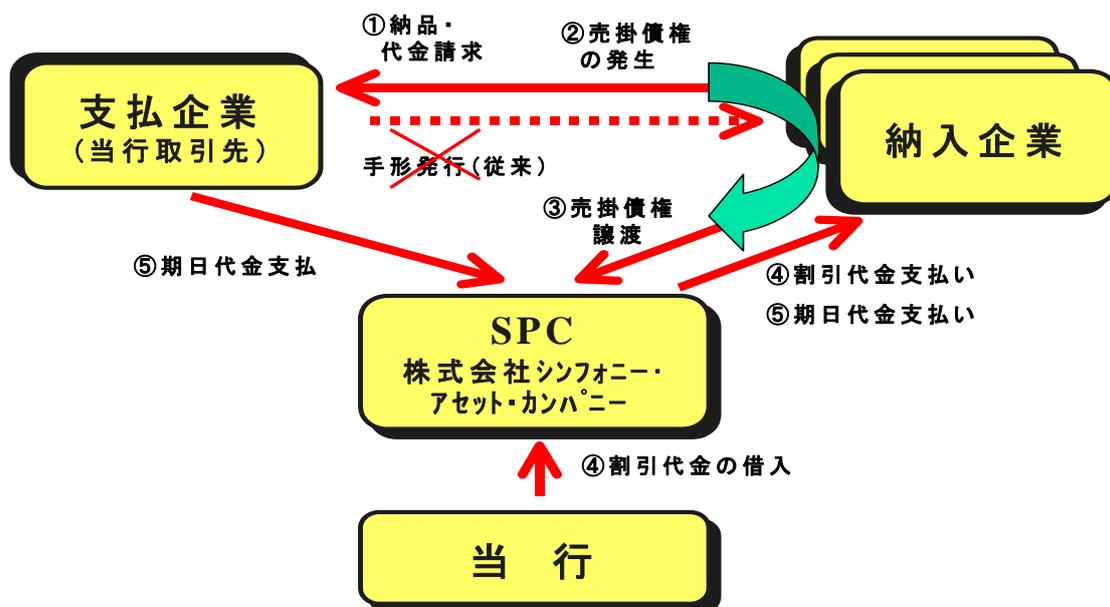
● SPC 一括ファクタリングの取扱い

お客さまの経費削減、事務の合理化を目的として、四行（みちのく銀行、東北銀行、荘内銀行、当行）共同 SPC（特別目的会社）を活用した一括ファクタリングサービスの提供を行っております。

平成 21 年度の SPC 一括ファクタリング取扱い実績

取扱い企業数	取扱い額
5 社	279 百万円

SPC 一括ファクタリングのスキーム図



● 財務制限特約条項を活用した融資の拡充

地場優良企業の「安定した長期資金調達ニーズ」に対応するため、財務制限特約条項を活用した、原則無担保・無保証、固定金利の事業者ローン「絆」をご用意しております。

平成 21 年度の取扱い実績

取扱い企業数	ご融資額
2 社	58 百万円

● CRD スコアリングモデルを活用した融資の拡充

CRD スコアリングモデルを活用した、秋田県信用保証協会提携事業者ローン「真・戦力」を積極的にご提供しております。本商品は、平成 19 年 10 月の「責任共有制度」の開始と合わせ取扱いを開始しております。これまでの融資実績累計は取扱い件数 371 件、取扱い額 45 億円となりました。

平成 21 年度の「真・戦力」取扱い実績

	平成 21 年度
取扱い件数	61 件
取扱い額	700 百万円

今後も、定性情報を含めた地域での情報を最大限に活用し、お取引先企業の事業価値を見極め、不動産担保、個人保証に過度に依存しない融資を推進してまいります。

(2) 人材の育成

● 「目利き能力」に長けたスペシャリストの育成

全国地方銀行協会主催の「法人向けソリューション営業実践講座」「企業再生実務講座（基礎・応用コース）」へ行員を派遣いたしました。

行内研修「法人営業推進基礎研修」「営業ステップアップ研修」を開催し、「課題解決型営業」推進に向けた人材育成に注力いたしました。

日本政策金融公庫が実施する農業経営の改善支援を行える農業経営アドバイザーの資格取得をすることで、アグリビジネス推進に向け、知識・スキルアップを図ってまいりました。

今後も「目利き能力」に長けたスペシャリストを養成し、多様化する企業ニーズに対する対応力を高めてまいります。

### 3. 地域の情報集積を活用した持続可能な地域経済への貢献

#### (1) 地域再生の活性化、持続的な成長を視野に入れた、同時的・一体的な「面」的再生への取組み

##### ● ほくと地域力連携拠点

平成 20 年 5 月に、経済産業省より委託を受け、「ほくと地域力連携拠点」の相談窓口をほくと相談プラザ内に設置し事業を開始しておりました。

平成 21 年度より荘内銀行と共同で事業を実施し、秋田・山形両県の広域支援体制をとり、「ほくと・荘銀地域力連携拠点」として、県境を超えたビジネスマッチング等に取組んでまいりました。外部より招聘した 3 名の応援コーディネーターが、財団法人あきた企業活性化センターを始めとするパートナー機関との連携により、地域の中小企業のお客さまの課題解決に向けた経営戦略の立案等をサポートしてまいりました。

	平成 20 年度	平成 21 年度
相談件数	296 件	851 件
相談先数	162 件	464 件
農商工連携事業認定	2 件	3 件
経営革新計画認定	0 件	8 件
ビジネスマッチング	40 件	41 件
専門家派遣先数	19 件	46 件

平成 22 年 3 月、「中小企業応援センター」事業に当行を含む秋田県内 6 団体によるコンソーシアムが採択を受け、4 月より「中小企業応援センター あきた中小企業応援ネットワーク」として、中小企業の高度・専門的な課題に対し、窓口相談や専門家派遣との連携により、地域経済の活性化に取り組んでまいります。

#### 『農商工連携セミナー&アグリビジネスマッチング交流会』の開催状況

平成 22 年 2 月 8 日に「ほくと・荘銀地域力連携拠点」の情報提供事業における中小企業の支援強化の一環として農商工連携セミナー&アグリビジネスマッチング交流会を開催いたしました。当日は 36 社、200 名が来場され関心の高さがうかがわれました。



(2) 地域活性化につながる多様なサービスの提供

● 秋田県内初のインストアランチ（以降、ISB）開設

平成 21 年 5 月より、イオン秋田ショッピングセンター内にあります御所野支店において休日営業の開始と平日営業時間の拡大を実施しております。秋田県内では初めての本格的なインストアランチとして、お客さまの生活スタイルに合わせた利便性の拡充を図ってまいります。

続けて、同年 10 月に 2 店舗目として、イオン大曲ショッピングセンター内に大曲プラザ支店をオープンいたしました。今後も、荘内銀行及び ISB コンサルティングとの連携を強化し、成長分野である保険やローン等個人のお客さまにご提供するとともに、ISB 店舗の拡充を図ってまいります。



御所野支店



大曲プラザ支店

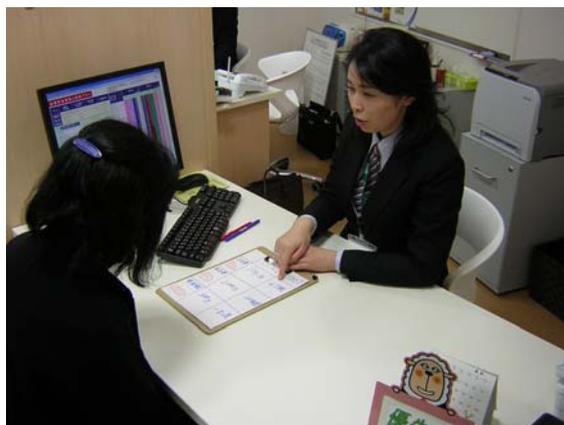
● 職場訪問受け入れ

平成 21 年 8 月、小学生を対象とした職場訪問を当行本店にて開催、49 組の親子の皆さまに参加いただき、銀行の概要、お金の流れなど楽しみながら金融知識を学んでいただきました。本取組みは今後も継続して開催し、地域を担う若い世代への金融知識の普及を図ってまいります。

● 「北都 ほけんの相談窓口」の開設

平成 21 年 10 月に秋田駅前の ATM コーナーを改装し、当行で初めてとなります「北都 ほけんの相談窓口」として保険専門ショップ「秋田駅前保険相談プラザ」を開設いたしました。落ち着いた雰囲気での相談ブースで保険の専門スタッフが保険に関して普段疑問に思っていることや心配な点等の相談をお受けいたします。ご要望によりお客さまのライフプランに応じた保険設計の作成もお受けいたします。

地域のお客さまが望んでいる保険商品に出会える場を作り、ご満足いただけるサービスの提供に努めてまいります。



● 商談会の開催

県内企業の異業種交流とビジネスチャンス創出を目的に、毎年開催している「ビジネス商談会」は「ビジネスマッチングフェア」として定着し、大きな注目を集めております。今回は開催以降、最高となる 62 件の商談成立となりました。

第 11 回ビジネス商談会の状況

平成 21 年 9 月には、県内最多となる「第 11 回ビジネス商談会」を開催し、秋田県内外の多数の経営者の皆さまを含め、1,000 名を超える来場がありました。

